



月刊原宿新聞

発行所
月刊原宿新聞社
本社/東京都渋谷区渋谷1-22-10
T.B. MYASHITA BLDG.5F
TEL03-3797-6331
FAX03-3797-6355
<http://www.harajukushinbun.jp/>

施設の全体像明らかに

神宮前民活再生事業 8月には建設計画説明

東郷神社に隣接する都
有地に留置場を含む警察施
設や商業施設を建設する計
画で東京都は、道路や緑道
を建設する基盤整備の説明
会を地域住民を対象に実



※原宿署の完成予想図(提案イメージ。実際の建築物とは異なる場合がある)

施、施設の全体像が明らか
になった。(写真参照)

建設されるのは、警察施
設(原宿署の移転)、商業・
オフィス棟、住宅棟A、住宅
棟B、レストランなど。この
ほか、中央図書館が移転・
新設される予定だ。

警察施設は、敷地面積三
二二二平方メートル。地下二
階、地上十五階建て。高さ五
九メートル、一部六九メー
トル。留置場の規模は三〇
〇人、単身待機宿舎定員八
〇人を含む。
商業・オフィス棟は敷地



※施設内配置図(実際の建築物とは異なる場合がある)

宮前一丁目民活再生プロジ
エクト。開発道路や緑道な
どの基盤整備工事を東京都
が実施、警察施設の設計・
建設、運営業務を含む収益
事業を民間が実施、委託さ
せるPFI方式だ。
東京都は昨年、このプロ
ジェクトの一般競争入札を
行い、東電不・三井不・竹中
グループ(代表企業・東電
不動産株式会社、構成・三
井不動産株式会社、株式会
社竹中工務店、太平ビルサ
ービス株式会社、株式会社
安井建築設計事務所)が落
札した。同グループは昨年
十月特別目的会社「株式会
社原宿の杜守」を設立。同
年十二月、都は事業契約を
締結した。契約額は約五七
億円。

12日に二回目の 基盤整備説明会

原宿の丘で

基盤整備の説明会で東京
都は、明治通りから現在の
中央図書館につながる幅員
九メートルの開発道路の整
備や原宿外苑中学校と隣接
するエリアに幅員四メー
トルの緑道を建設することな
どを明らかにした。緑道の
境界線には目隠しフェンス、

社事大跡地建設計画で

住民に広く説明を

大規模留置場建設で表面
化した社事大跡地の基盤整
備事業説明会が開かれた。
地域からの参加者は二十数
人。数えてもいないが、都や
民間建設会社の出席者が多
いぐらいであった。私たち
も知ったのは、たまたま五
月九日の中学校からの案内
から。説明会の三日前であ
った。

この計画は、〇一年十月
大手紙の「原宿駅近くに大
規模留置場」東京都が計
画」との報道から紛糾。地元
で反対区民の会が結成され
六万人の署名を集める大規
模な住民運動までに発展し
た。

三年あまりにわたり展開
された住民運動であったが、
〇四年十一月、東京都の考
え方を聞き、基本的に了承。
住民側の要望を提案、建設
反対から施設内容の論議に
移った。留置場の三〇〇人
という規模についても積極
的ではないにしろ受け入れ
た。

これに伴い反対区民の会
は発展的に解消、交渉窓口
となる連絡調整会議に移
行。それから二年近くが経
過した。地域住民としては
「なぜ中学校の隣に留置場
なのか」「なぜ原宿なのか」
など根本的な命題はふせた
まま了承した格好だが、ど

ういった施設ができるのか、
重大な関心を持っているの
は当然のことだ。
「知る権利」と「個人情報保
護法」。個人情報保護法
というものを名目に施行
された同法だが、会社には
相変わらずどこから手に入
れたか知らないが、営業の
電話が個人宛てに頻りに
かかってくる一方、火災の
出火原因が個人情報保護法
で明かせないなどの話が飛
び込んできた。個人の情報
を保護するという本来の目
的を逸脱、安易な情報操作

が行われようとしていない
か。国民の「知る権利」との
整合性はどうか。だ
れが公開できない個人情報
かどうかを取捨選択、保護
しようというのか。国家の
主権は国民にあるのではな
いのか。

東京都は、道路・緑道の
建設とはいえないものの、こ
うが一連の経緯があること
から広く地域住民に告知す
る義務があるのは確か。過
去のいきさつから紛糾を怖
れる気持ちはあるのだろう
が、逆に正々堂々と多くの
対応を強く求めたい。

宮下公園にフット サル場がオープン

ネット予約可

宮下公園のフットサル場
が、十七日よりオープンす
る。渋谷区在住・在勤・在
学の十人以上の団体が利用
可。予約申し込みは十一日
よりインターネットで開始
(要事前登録)。料金、利用
時間帯などは、渋谷区スポ
ーツセンター(三四六八一
九〇五)まで。



株式会社 JET ROBOT
music factory
<http://www.jetrobot.com>
〒155-0031
東京都世田谷区北沢3-3-11 201号
TEL・FAX(03)5429-0131

おいしい野菜

www.oec-yasai.com
本当においしい野菜を食べていますか?
「おいしい野菜」では、化学農薬や
化学肥料を一切使用せずに育てた、
美味しく、しかも美しい、高品質な
野菜をWEBサイトで販売しております。
ぜひ一度お試しください!
楽天市場店OPENしました!
<http://www.rakuten.co.jp/oec-yasai/>
おいしい野菜運営室 ☎ 0120-602-831



Tree of lifeの創造
生活の木
<http://www.treeoflife.co.jp>
東京都渋谷区神宮前6-3-8
TEL:03-3409-1781 FAX:03-3400-4988

ラブホテル規制条例

渋谷区定例議会が開会

渋谷区の第二回定例議会が八日開幕した。二十日までの十三日間で十三本の議題が審議される。目玉は、ラブホテルの新規建築を事実上不可能とする「渋谷区ラブホテル建築規制条例」の採択。採択されれば東京二十三区で初となる条例だ。

桑原区長は冒頭、渋谷区で暴力団が性を売買し資金源としている現状について言及。こうした環境によって青少年の健全育成を阻んでほならないと、今回の「渋谷区ラブホテル建築規制条例」案提出理由を説明した。

同条例は①ラブホテルの使用目的や構造、設備面から定義。②業者が新たにラブホテルを建築する場合、区長の同意が必要となり、かつ区長は建築基準法や文教地区指定などでホテルなどの建築を禁じられている区域では、建築に同意しない規定。③区長が立入調査、改善勧告、中止命令等を発令でき、命令違反者には罰則も適用できるような権限を強化するものだとしている。

また、ペットボトルのリサイクル拡充と廃プラスチックの熱回収についても言及。ペットボトルについては集合住宅での集積所での回収を強化すると述べたが、一方これまで不燃ゴミとして埋め立てられていた廃プラスチックに関しては、最終埋立地の容量がもはや限界に達しており、埋立地延命のため焼却処理したいとする考えを表明、各会派に理解を求めた。

代表質問には三名が立った。与党自民党の前田和茂議員は、まず渋谷川を含めた渋谷駅周辺の整備事業について質問。そのほか前回第一回定例議会でも都内高校生

の自主団体「高校生環境連盟」から出された「歩行喫煙禁止条例」の制定を求める請願について、区長の意見を求めた。

同じく与党の公明党からは、沢島英隆議員が代表質問に立った。沢島議員の質問は少子化問題と教育の充実に関し、多くの時間が割かれたが、特にこの三月厚生労働省に採用され、さいたま市などではすでに配布されている「マタニティキーホルダー」を渋谷区民にも無償配布すべきとの考えを示した。これは「お腹に赤ちゃんがいます」と書かれたハート型キーホルダーで、妊婦が満員電車で押されたり、近くで煙草を吸われるなどして苦痛を感じた場合、相手にさりげなく見せることで配慮を願えるものだ。

野党共産党からは、五十嵐千代子氏が登壇。小学生が放課後や土日に遊ぶ場所として現行機能している「児童館」が、第三セクターに委託して学校内で行われる「放課後クラブ」への全面切り替えが計られていることに関し、「児童館」の存続を訴えた。また同党の森治樹議員も個人質問に立ち、障害者自立支援法の問題点を指摘した。

提出された議題は条例案六本、補正予算案一本、人事案一本、報告案五本の計十三本。二十日(火)の本会議で採決の予定。

65歳以上の陶芸クラブに参加を渋谷区在住の六十五歳以上を対象にした陶芸クラブが、七月から十二月まで高齢者ケアセンター(神南一・八・六)にて開催される。開催日は期間中の土曜日。時間は①午前九時三〇分～十一時三〇分②午前十一時三〇分～三時三〇分の二通り。

申し込みは六月十日(必着)までに往復ハガキで(郵便番号、住所、氏名、性別、電話番号、生年月日、希望の時間帯を記入)。(宛先)〒150-0041 渋谷区神南一・八・六 高齢者ケアセンター「陶芸クラブ」担当 (問い合わせ) 高齢者ケアセンター(電話) 三三三〇-〇二七

ネット新聞も充実

月刊原宿新聞社は、昨年八月からインターネット上でオンライン新聞のサービスを開始しました。検索サイト「原宿新聞」と入力すれば、表示されます。

オンライン新聞は、今年二月に専門スタッフを募集し、一六〇人の応募の中から採用しました。駆け出しのトロロコ記者ですが、事件事故などの警察ネタを含め

取材に奔走、毎日原稿をアップしています。紙の「原宿新聞」は、地域住民の方々を対象とするため若干、内容、趣旨を異としています。原宿・表参道のありようを報道、原宿の発展を願う姿勢は変わりません。オンライン新聞もご覧になってください。

http://www.haraju-kushinbun.jp/

あの人

小規模校の良さいかす

神宮前小学校校長 川島 信雄氏



「理想的な児童数確保が使命」

神宮前小学校にこの四月より、新校長・川島信雄氏(五二)が就任した。これまで武蔵野、府中、国立など、郊外各市の比較的大規模な小学校での経験が長かった川島氏。全校児童数二二〇名の神小に赴任して一ヶ月の間に感じたのは、「ひとつの大きな家族」の一員になったかのような感覚だとい

う。神小では川島氏赴任以前から、毎月その月に生まれる

嫌いなメニューを食べられず、下級生に、「三個のうち一個でも食べてみなよ」と六年生がアドバイスしてあげたところ、普段は全部食べきれないはずの子が見事に完食。赴任してすぐこうした光景を目にしたことで、川島氏は、一年生から六年生までの皆が容易に顔馴染みになれる小規模校ならではの良さを、即座に悟ることができた

と。教師としての長い経験に、川島氏は「六年生を見ればその学校の全てが分かる」と断言する。川島氏は、神小の子どもの心根については、何ら不安を抱いていない。学校挙げての表参道美化運動である「ピカピカけやき大作戦」もすでに見学したそうだが、大人でも嫌がる道端にこびりついたガムを剥がす仕事を、神小の上級生たちがいやな顔ひとつせず、当たり前のごとく行っていることに心底驚かされたという。「おそろく最初は先生からやるように言われたのかも知れないが、今では子どもたち自身の中に、自分の町をきれいにしたいという思いが

確実に育っていると実感した。川島氏の出身地は秋田県能代市。四十年前にそこで育った自分自身のことを振り返ると、年上のガキ大将たちの遊びの中から学んだことは、ある意味で親や先生から教わることに限らず、子どもは常に身近な人間をモデルにする。とで育つものだが、「日常接する上級生たちとのコミュニケーション」を通じて、知らずのうちに自立の方法を学べる環境が整っていることは、神小生にとって計り知れない強みになるはずと川島校長は語る。

赴任して一ヶ月あまりのうちに、すでに数多くの神小出身者と会う機会に恵まれた。川島氏は、彼らと話をしているうちに、神小出身であることに強い誇りを抱いていることを感じるという。

「今いる子どもたちに、(出身者たちの誇りを)すぐに理解しろと言っても無理だと思ふ。だが、彼らが大人になり他の学校と神小を比較できるようにするとき、自分が育った場所は素晴らしい」と川島氏。

そのためにも今後は、小規模校ならではのよさを活かすべく、一クラス二十五人程度の理想的な児童数を確保するというのが、校長としての自らの使命と考えている。

経営者の皆様を取り巻く経営上の問題に的確に対応する身近なパートナーです。皆様に役立つ質の高いサービスの提供を追及します。

税理士法人アイ・タックス

代表社員 税理士 森脇 仁子

東京事務所
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-11
Park Axis明治神宮前701号
Tel:03-5410-7533 Fax:03-5410-7583
e-mail:moriwaki-hitoko@tkcnf.or.jp
URL:http://www.kaikeizin.ne.jp



American Business Creation, Inc.

代表取締役社長 長谷 善幸

〒106-0041 東京都港区麻布台2-3-5 NOAビル15階
Tel:03-3560-7548 Fax:03-3560-7583

ファッション販売のディック

婦人服・雑貨 販売スタッフ募集



株式会社 ディック

厚生労働大臣許可 販売の職業紹介業
東京都渋谷区代々木1-55-14 セントヒルズ代々木803
Tel:03-3378-8718 Fax:03-3379-4015
E-mail:dick@m2.pbc.ne.jp